

# 200年の歴史を持つ古民家を舞台に結婚式 (三木市)

活用資源	古民家、特産品、文化
取組主体	三木市

## 概要

- 三木市三木地区は、三木城の城下町で、戦国時代に三木合戦で荒廃したものの、羽柴秀吉によって復興された歴史を持っています。湯の山街道等の街道が交差する交通の要衝に位置し、江戸時代後期には「三木金物」の生産地として金物産業が発展、現在でも街道沿いに金物のまちを今に伝える伝統的な町家等が残っています。
- 三木地区の「旧玉置家住宅」は、江戸時代に切手会所（銀行）として建築された国登録有形文化財で、一般公開され、住民ボランティア団体がガイドやカフェ等を行うとともに、古民家の魅力を活かした様々なイベントも開催されています。
  - 古民家ウエディング  
日本の文化や伝統的建造物の良さを知ってもらい、海外からの誘客につなげるため、外国人に和風の結婚様式を体験してもらいたいイベントです。
  - 玉置さん家のお酒まつり、玉置さん家のビアガーデン  
三木市が酒米「山田錦」の日本一の産地であることを活かして、旧玉置家の庭で、地元の日本酒やビール、地元飲食店が出店するグルメなどを味わうイベントです。
  - 春を告げるお雛さま展  
伝統・文化を肌で感じてもらうため、玉置家が所蔵していたお雛さまを展示するイベントで、近隣の町家や資料館と連携してスタンプラリーも行っています。

## ポイント

ココが  
コツ！

- 市役所職員発案の「古民家ウエディング」は、初めての試みでノウハウもなく実施に不安がありました。関係者に取組の趣旨や熱意などを伝えていくことで、関西国際大学の同好会「ウエディングラボ」、玉置家で普段活動している住民ボランティア、近隣の大宮八幡宮など多くの方々の協力を得ることができ、実現しました。
- まずは「古民家ウエディング」を知ってもらうため、旧玉置家での結婚식을希望するカップルを募集、試行的に実施しました。この経験を活かし、今後は本格的にブライダル業界と連携した事業化を目指しています。
- 他にも、すでに旧玉置家で実施中の古民家カフェについて、来訪者の満足度アップに向け、内容を充実させる試みも行っています。十分な予算がないため「まずはできる範囲で」と、期間限定のお試しで、カフェスペースをこれまでの土間から趣のある蔵内部に移し、ゆっくりくつろげる空間にしてみました。この取組を通じて市とボランティアの関係が深まり、またボランティアのモチベーションも上がって、次の取組の検討へとつながっています。



結婚式の様子

この事例をもっと知りたい場合

三木市観光振興課



TEL 0794-82-2000

HP <https://www.city.miki.lg.jp/>

SNS  @miki\_city\_sangy